

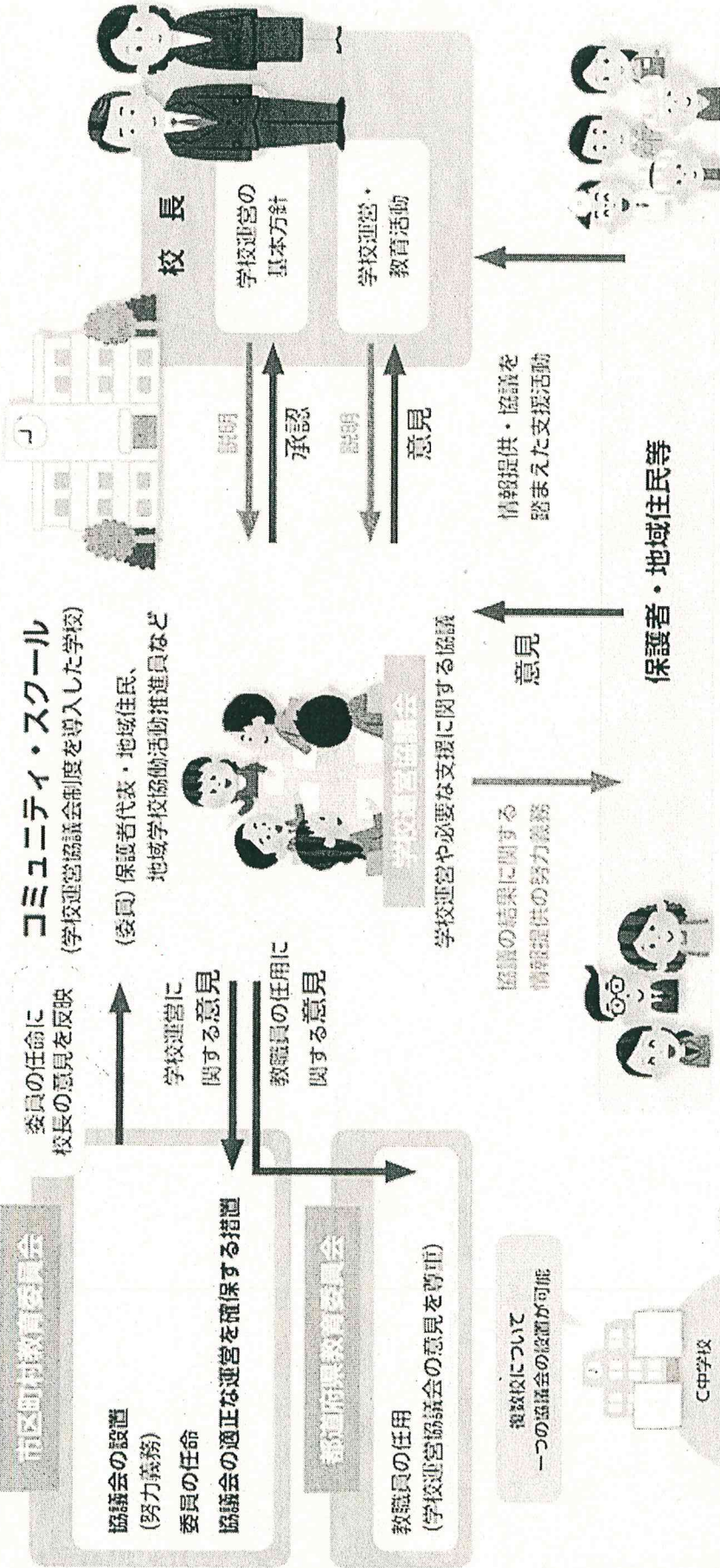
平成30年8月9日

高砂市総合教育会議資料

- ・ コミュニティ・スクールについて 1
- ・ プログラミング教育について 2
- ・ 学校施設の環境整備について 4

高 砂 市

コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)の仕組み



＜学校運営協議会の主な役割＞

- 校長が作成する学校運営の基本方針を承認する
- 学校運営について、教育委員会又は校長に意見を述べることができる
- 教職員の任用に関して、教育委員会規則で定める事項について、教育委員会に意見を述べることができる

地教育法第47条の6

教育の情報化が目指すもの

教育の情報化の3つの側面

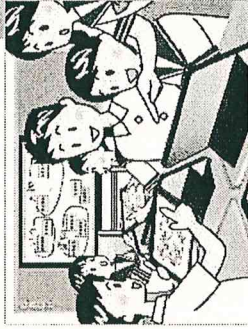
情報教育

情報活用能力の育成



教科指導におけるICT活用

ICTを効果的に活用した分りやすく深まる授業の実現



校務の情報化

ICTを活用した統合型校務支援システムへの導入等による効率的な校務の遂行



3つの側面を通じた教育の質の向上

教員の情報教育・ICT活用指導力向上

学校のICT環境整備

教育情報セキュリティの確保

教育の情報化を支える基盤

- 平成29年3月に小学校及び中学校、平成30年3月に高等学校の新学習指導要領を公示。
- 新学習指導要領を小学校は平成32年(2020年)度、中学校は平成33年(2021年)度から全面実施。高等学校は平成34年(2022年)度から学年進行で実施。
- 情報教育・ICT活用教育に関するポイントは次のとおり。

小・中・高等学校共通のポイント（総則）

- 情報活用能力を、言語能力と同様に「学習の基盤となる資質・能力」と位置付け
- 学校のICT環境整備とICTを活用した学習活動の充実を
明記

小・中・高等学校別のポイント（総則及び各教科等）

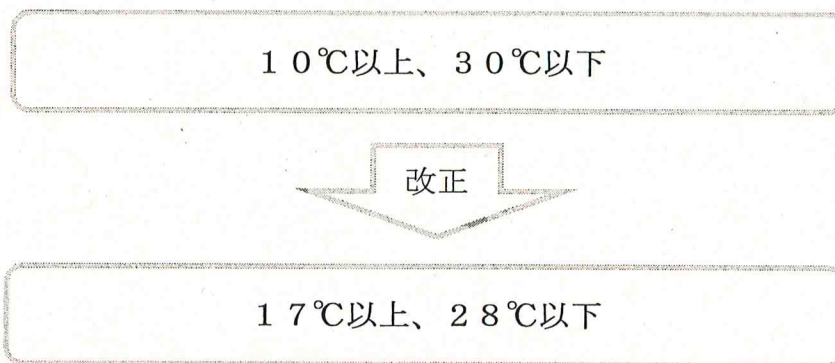
- 小学校プログラミング教育の必修化を含め、小・中・高等学校を通じてプログラミング教育を充実。
 - 小学校においては、文字入力など基本的な操作を習得、新たにプログラミング的思考を育成
 - 中学校においては、技術・家庭科(技術分野)においてプログラミングに関する内容を充実
 - 高等学校においては、情報科において共通必修科目「情報Ⅰ」を新設し、全ての生徒がプログラミングのほか、ネットワーク(情報セキュリティを含む)やデータベースの基礎等について学習

学校環境衛生基準の改正（抜粋）

（平成30年4月1日）

◆教室等の環境に係る学校環境衛生基準

望ましい温度の基準



（参考）

学校保健安全法

第六条 文部科学大臣は、学校における換気、採光、照明、保温、清潔保持その他環境衛生に係る事項（学校給食法（昭和二十九年法律第百六十号）第九条第一項（夜間課程を置く高等学校における学校給食に関する法律（昭和三十一年法律第百五十七号）第七条及び特別支援学校の幼稚部及び高等部における学校給食に関する法律（昭和三十二年法律第百十八号）第六条において準用する場合を含む。）に規定する事項を除く。）について、児童生徒等及び職員の健康を保護する上で維持されることが望ましい基準（以下この条において「学校環境衛生基準」という。）を定めるものとする。

2 学校の設置者は、学校環境衛生基準に照らしてその設置する学校の適切な環境の維持に努めなければならない。

高砂市の学力の現状と今後の学力向上に向けた取り組みについて

1 現状

平均正答率については、小学校では H25 年~H28 年まで全国と同程度で向上傾向にあったが、H29 年に低下している。

中学校では、H25 年~H29 年のすべてにおいて全国平均を下回っている。また、H29 年は特に低下が激しく、特に「活用する力」に課題が見られる。

正答率の高い子どもと低い子どもの割合については、小学校では全国と同程度であるが、平成 29 年度に正答率の高い子どもが減少し、低い子どもが増加している。中学校では全国と比較すると正答率の低い生徒が多く、高い生徒が少ない。平成 29 年度にはその差が拡大している。

課題 1 学力低位層のボトムアップならびに上位層の引き上げが必要

無回答率については、小学校では H28 までは全国と比較して無回答率が低かったが、H29 年に増加している。中学校については平成 26 年より全国と比較して無回答率が高い。

課題 2 学習に対して主体的な取り組みが必要

学力を支える力として児童生徒に身に付けたい力を設定し、成果と課題を検証するため、全国学力学習状況調査の生徒質問紙より 5 つの力を設定した。

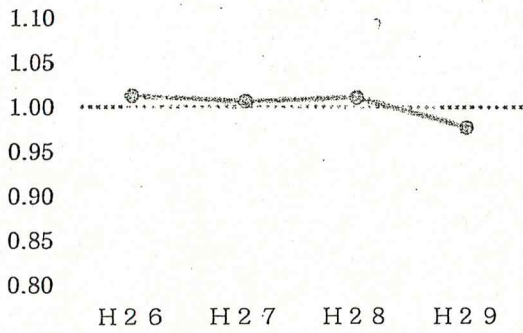
「家庭学習力 (家で、自分で計画を立てて勉強する)」、「つながり力 (学級の友達との間で話し合う活動をよく行う)」、「学び力 (受けた授業で扱うノートには、学習の目標とまとめを書く)」、「がんばり力 (国語・算数/数学の勉強は好きですか)」、「読書力 (読書は好きですか)」の 5 つの力について、小学校・中学校ともに、家庭学習力が最も低く、つながり力が最も高い。

課題 3 5 つの力の UP が必要

全国学力学習状況調査各調査における結果の推移

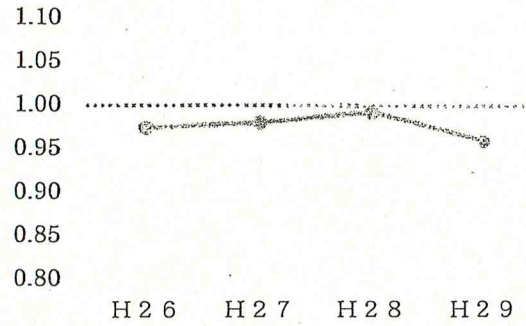
小学校

国語A

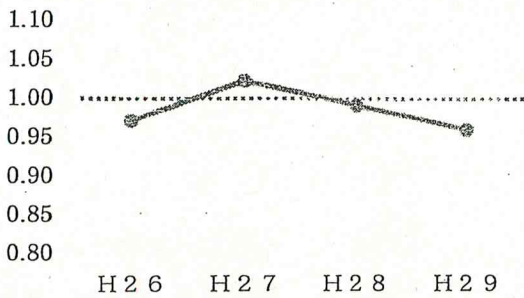


中学校

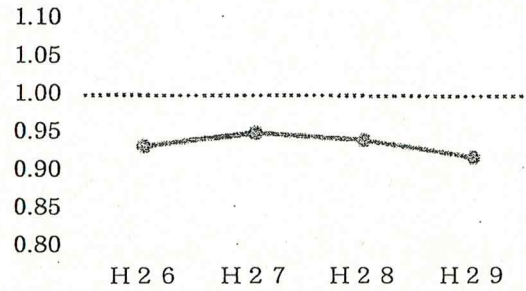
国語A



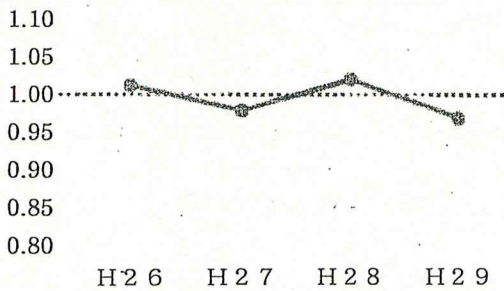
国語B



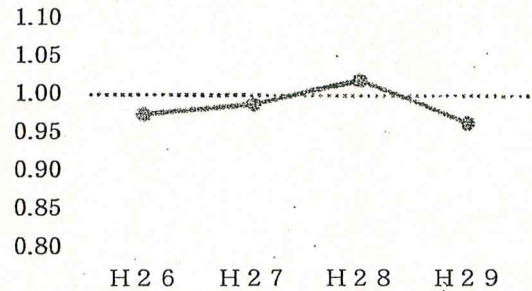
国語B



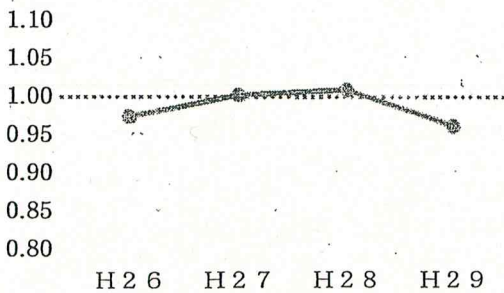
算数A



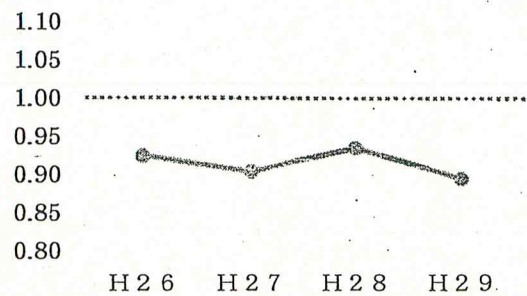
数学A



算数B



数学B



※グラフの見方

グラフの目盛りは、国語A・B算数/数学A・Bの4調査の平均正答率について、「本市」÷「全国」の全国比より算出しています。